

2026年5月13日

NTT東日本株式会社青森支店

NTT 東日本青森支店と弘前大学が地域活性化に向けた連携協定を締結

NTT東日本株式会社青森支店(支店長:宮崎 大輔)は、国立大学法人弘前大学(学長:福田 眞作)と地域活性化に向けたデジタル人財の育成および、デジタル技術を活用した社会課題解決を目的として、2026年5月22日に連携協定を締結します。

本協定は、人口減少や若者の県外流出といった青森県が直面する課題に対し、弘前大学が有する教育・研究資源と、NTT 東日本青森支店が有するデジタル技術および実践知を組み合わせ、地域に根ざした人財育成と社会実装を推進するものです。

1. 取り組みの背景と目的

2040年には青森県の人口が100万人を下回ることが予想されており、青森県では将来を見据えた「青森県基本計画」を策定しています。同計画では「若者が未来を自由に描き、実現できる社会」を目指すべき姿として掲げ、政策テーマに【産業を支える DX の推進】【若者をひきつけるしごとづくり】を位置づけています。

こうした背景のもと、地域産業の持続的な発展と若者の県内定着を実現するためには、デジタル技術を担う人財の確保・育成が不可欠であり、県内におけるデジタル人財育成の取り組みを早急に進めることを目的としています。

2. 締結式

(1) 日 時：2026年5月22日(金) 10:30~11:00

(2) 場 所：NTT 東日本 青森支店 HAnet Station (青森市橋本 2-1-6 橋本ビル 1F)

(3) 出席者：国立大学法人 弘前大学 学長 福田 眞作

NTT 東日本株式会社 青森支店 支店長 宮崎 大輔

3. 主な連携内容

- デジタル人財の発掘と育成
- デジタル人財の地域就労支援
- 地域課題の抽出とデジタル技術を活用した地域課題解決
- 地域におけるデジタル技術の浸透
- 地域活性化を牽引する次世代リーダーの育成
- その他相互の協力可能な分野において、互恵の精神に基づき実施する事業

4. 今後の取組みについて

本協定に基づき、教育、就労支援、地域課題解決を一体的に推進し、地域循環型社会の実現と青森県の持続的な発展に貢献してまいります。